

## 平成16年9月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年7月30日

会社名 日本ジャンボー株式会社

(コード番号：9677登録銘柄)

(URL <http://www.jumbo.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長  
氏名 村松 潔

問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長  
氏名 柳川 源三

(Tel: (0465) 60-2500)

### 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 ・ ⑧

### 2. 平成16年9月期第3四半期業績の概況（平成15年10月1日～平成16年6月30日）

#### (1) 売上高（連結） (百万円未満切捨)

	百万円	%
16年9月期第3四半期	13,961 ( - )	
15年9月期第3四半期	- ( - )	
(参考) 15年9月期	17,164	

(注)1.売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2.当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

3.上記の数値は、監査法人による監査を受けておりません。

#### [売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、米国をはじめとする世界経済の回復基調にともなう輸出の好調ならびに国内企業の生産堅調などにより明るさが見え始めたものの、依然として予断を許さない状況となっており、加えて当ラボ業界を取り巻く環境もデジタルカメラ製品が高性能化し、低価格で市場に大量に普及しており、今後の銀塩写真は更に厳しい状況が続いていくものと予想されます。

このような中、当社といたしましては効率的な事業経営を行い、競争力の徹底的な強化に努めるなど事業収益の維持拡大に取り組んでおります。

写真事業では依然として需要減が続いている中、他社ラボ事業所の統廃合等再編により大幅に受注量を伸ばし、売上は9,456百万円となりました。

温泉事業においては日帰り銭湯がレジャーとして位置付けられてきましたが、同業他社の進出が続いている上に、景気の先行き不透明感により売上の伸長率の鈍化傾向と厳しい環境が続いているが、2店舗の新設により売上は4,231百万円となりました。

その他事業については、平成15年10月1日に合併した連結子会社(株)エス・ビー・エムのビルメン事業部を事業の拡大による一層の競争力を高めるため、平成16年1

月5日をもって分社したことにより、売上は273百万円となりました。  
この結果、総額で13,961百万円となりました。

- (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象  
該当事項はありません。

3. 平成16年9月期の業績予想（平成15年10月1日～平成16年9月30日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	18,519	938	395	53 58

(注)上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますので、  
実際の業績は今後の要因により予想数値とは異なる場合があります。

以 上